



ルリーロ福岡通信

ラグビータウンプロジェクト推進係 75 - 3343

ルリーロ福岡で学生広報を担当している久留米大学^{おやま}の小山りんです。今月号では、ルリーロ福岡の選手でありながら、福岡県立浮羽究真館高等学校（以下、浮羽究真館高校）の保健体育教員としても活躍されている長谷川寛太^{かんた}さんにインタビューしました。選手としてのあり方や教員としての生徒との向き合い方、そしてうきは市への想いをお届けします！

一選手と教員との両立で大切にしていることはどんなことですか？

「選手をして、教員をして、部活動も指導。また、子育てもしなければならぬので大変ですが、自分自身が後悔しないことも含め、それぞれでそのとき持っている 100% の力で取り組む姿勢を生徒たちに見せることを意識しています」

一浮羽究真館高校ラグビー部のコーチとして、生徒たちにどんな影響を与えたいですか？

「結果を求められることが多いラグビーで、当然最後はうまく行って欲しいですが、そうじゃなくてもその過程が自信に繋がりますし、積み上げてきたことは無駄じゃなくてすごく大事なことでよと伝えています」



グラウンドで高校生に指導する長谷川さん

一ルリーロ福岡はうきは市にどんな影響を与えていると感じていますか？

「1 番驚いたのがルリーロ福岡が参加する 1 年間のイベント数の多さです。地域のヒーロー的役割と

して、現役スポーツ選手が与える影響は大きいと思っています。実際に参加した地域のお祭りなどで、子どもたちを高く持ち上げてボールをキャッチする『ラインアウト』というプレーを体験して喜んでもらったり、うきは市の少年ラグビーチーム『浮羽ヤングラガーズ』の子どもたちに指導を行ったりと、良い影響を与えられているといいなと思います」

一うきは市や浮羽究真館高校ラグビー部、そしてルリーロ福岡でやり遂げたい目標はなんですか？

「まずは浮羽究真館高校が全国大会に出場して、うきは市だけでなく、全国に衝撃を走らせるという目標があります。あとは、ルリーロ福岡がリーグワンの 2 部に昇格することです。両方とも成し遂げてうきは市を盛り上げる、皆さんの生きる活力になるように一緒に頑張りたいです」



ルリーロ福岡やラグビー部について話す長谷川さん

ラグビーを通じて生徒や地域を想い、自分ができに全力で取り組む長谷川さん。お話を伺った後、グラウンドでラグビー部の生徒たちへ指導する姿を見学させていただきました。積極的に動きつつも、細やかなことに気を配り、生徒の気づきとなる助言を行う姿が印象的でした。これからも、その熱意が生徒たちの成長に良い影響を与えるとともに、明るく力強いパワーで、長谷川さんならではの立場を生かした地域活性化を進めていきたいです。